

平成16年

No.232

波紋



2004 10月
PUBUSHER: 森松株式会社 EDITOR: 梅田文康

第12回「元気が出る森松展」

環境系未来式プラスチック ～情報をハッスル! ハッスル!～

- 日時: 平成16年10月14日(木) 9:00~17:30
15日(金) 9:00~17:30
16日(土) 9:00~17:00
- 場所: 森松株式会社 本社5Fホール

※ 上記時間帯以外にご来場の方は、担当営業マンまでご連絡下さい。ご案内させていただきます。



出展企業

アキレス(株) 出光ユニテック(株) 大倉工業(株) オカモト(株) (株)カッロン カンボウプラス(株) (株)コーハン
コダカ産業(株) サンビック(株) シーアイ化成(株) シーダム(株) 杉産業電機(株) (株)生産日本社 積水成型工
業(株) 龍田化学(株) 日本ウェーブロック(株) 東田商工(株) (株)プロセスコバヤシ 丸喜化学工業(株) 三菱化
学MKV(株) 三菱樹脂(株) 明和グラビア(株) 菱興プラスチック(株)

森松合同ブース出展企業

(株)アルファ工業 (有)エコデザイン エヌ・ビー・シー(株) 金子商店 三協化成(株) 大同紙工印刷(株) ダイニック(株)
大和グランド(株) (株)トラスト (株)プラスコーポレーション ポリテック(株) 三菱商事(株)

(敬称は略させていただきます)

森松展実行委員長: 伊東 郁二
副委員長: 加藤 雅昭・飯田 奈都子

「2004年8月中国雑感」

社長 森 直樹



お盆休みを利用して中国出張に行きました。上海を基点に周辺の都市を幾つか回ってきましたが、一年半ぶりの訪中ではやはり着々と進む近代化、上海の風景・人の変化が強い印象を残しました。まず、空港から市街地へのバスの中で切符売りのおばちゃん「本日は乗車いただき有難う御座います」という挨拶から切符を販売。日本では当たり前のように聞こえる言葉ですが、中国でこのような言葉を聞くことや驚きです。これまでよりも進んだサービスの概念が広まっています。国際化が進む上海主要交通機関や宿泊施設での対応は年々改革が進んでいるのでしょう。チェックインしたホテルでも同様に丁寧な対応でした。そしてますます増える車の数。調べてみると上海市は車両の増加を抑えるため年間約5,000枚のペースでナンバープレートを発行。今後も増加していくことを考えると、付随する施設、すなわちガソリンスタンド、駐車場等はいったい何処に出来る余地があるのだろうか、と、人事ながら不安になります。

発展めまぐるしい上海とは対比的に、周辺都市はバイクタクシー、野菜かごを担いだおばさん、そして砂埃が舞う道路と、懐かしい風景が広がっています。しかしながら泊まったホテルには各部屋でブロードバンドが無料で使用できたり、上海では空港から市内を結ぶリアモーターカーが開通したりと、中国は最新技術と伝統文化がぶつかり合い、混沌としています。いや、恐らく階層の細分化と、格差の幅が広がっている、ということでしょう。日本で買ったより高い外車に乗り、ブランド品で着飾る人もいれば、お金そのものを必要としない自給自足の農民の人もいる、ということですね。

発展途上の中国大陸に身を置くと、自然と競争心、やる気が沸いてくるような気持ちになります。それはそこが外国だからということだけではなく、以前と変わらないバイタリティ溢れる人々の熱気のせいでしょう。モノの流れだけではなく、この熱気も日本に伝わってくるのが近いと思えます。

naoki@morimatsu.net

2004年
10月
の予定

30日(土)	24日(日)	23日(土)	22日(金)	14日(木)	11日(月)	9日(土)	6日(水)	5日(火)	4日(月)	2日(土)
第五土曜休み	加藤雅昭さん誕生日	編集会議 17時~	竹内治子さん誕生日 生産会議 18時~	経営会議 7時30分~8時20分 営業会議 15時10分~16時10分	懇親会 18時~20時	元気が出る森松展 16日まで	体育の日	第一土曜休み	法規会 18時~	誕生日会 12時~
								(東京ビッグサイト)	東京パック 9日まで	第一土曜休み



永年会主催 ハゼ釣り

日時: 9月4日(土) ともり
場所: 福井県敦賀
参加者: 大人14人(研修生中国人2名)
子供1人



永年会のハゼ釣りは毎年のことで、敦賀まで足を運んでいます。今年の参加者は15名も集まり、主催者としては大変嬉しく思いました。心配していた当日の天気も天気予報では午後から雨でしたが、私の願いが通じたのでしょうか、なんとか持ちこたえてくれました。さて、肝心のハゼですが...

去年は、から揚げの用意までして肝心のハゼがいない状態でポーズに終わってしまいましたが、今回は条件に恵まれて120ミリサイズのハゼが入り食いでした。約3時間で一人あたり30匹ほどの成果がありました。釣ったハゼをその場で三枚におろし、刺身とから揚げに料理して食べました。また来年も参加して今度は美味しいんぶらを食べたいと思います。早くも来年も参加希望!?

松井 宣和 (Σ-208)



編集後記

また残暑厳しい8月最後の日曜日に高山までドライブにでかけました。帰りには温泉にも入ろうと朝早くから出かけたのですが、どんでもないパニングにありました。

2時間程度高山の町並みをぶらぶらしてから車に戻り、エンジンをかけて5分程度たつた時です。車の後ろの方から「パンッ」という大きな破裂音がし、びっくりして後ろを見るとフィルム越しにリアガラスがこなごなに...。すぐに車外に出て周囲や上を確認しましたが、物が落ちてきたりした様子もなく、信じられない光景に呆然としてしまいました。

少しの震動でもミシミシときしむリアガラスに恐れながら取りあえず最寄りの車屋まで行き、応急処置をしてもらいました。状況を説明し原因として考えられる事を聞くと、飛び石等でフロントガラスが割れるという事はよくあるが、リアガラスの例は熱線を入れたままで長時間放置していた場合等を除き今回のような破損はあまり例がなく、しいて言えばなんらかの外的損傷があったところにエアコンを入れ、車外と車内の温度差が生じたことによつて割れたのではないかと...。事でした。結局、はつきりとした原因はわからないまま、しじの代車生活を余儀なくされてしまいました。

リアガラス取替・修理代¥70,000の請求書を見ると、改めて重いため息が出てしまいます...

梅田文康

(GMエキスパート)



『アメリカのアキレス腱』

森 信之



北朝鮮問題で「番気になるのが、アメリカの態度です。朝鮮半島がゴタゴタしてメリットがあるのはアメリカです。朝鮮半島を含む東南アジアが平和になれば、アメリカの軍隊は本国へ引き上げなくてはならない。アメリカ本国へ帰っても仕事はなかったら、兵隊さんは失業です。軍人を含む、軍隊で経営が成り立っている商人や、生計を立てている政治家、公務員は失業者となります。朝鮮半島に危機があるほうが都合が良い人もたくさんアメリカに存在します。

朝鮮問題六カ国協議会の開催もアメリカは積極的に介入しないで、問題を長引くようにもっていくでしょう。その方がアメリカにメリットがある。いつまでも韓国、沖縄、日本国内に駐留軍を留まらせる理由になるから。そして今度は、アメリカの圧力で、国際原子力機関を動かし、濃縮ウランの事を持ち出してきた。アメリカとその他の国だけ所有を認め、その他の国は認めないとは、大国の横暴そのものです。アメリカが、韓国嫌いになった本当の理由は、ロシアの原油をドル決済でなく、ユーロ決済で輸入を始めようとした事にあるようです。アメリカのアキレス腱は「ドル基軸通貨制」である、ドルが世界貿易の国際決済通貨である特典がなくなる事を、一番恐れていると私は思うのですが、みなさんはいかが思われますか???

『無言のスーパーアシスト「波紋」』

伊東郁二 (ニーズ)



1993年10月1日より「営業職」をやらせてもらい、今月で丸11年が経過しました。月曜日は名古屋で、火曜日・金曜日(実演が入ると日曜日までは日本のどこかで生き抜いてきました。プクプク太ってきました。

非常に解り易い行動日程なので、大抵のお客様も僕の日程を把握してくれるようになりました。連絡に関しては、会社へ電話をかけるよりも携帯電話かメールです。来社される時は月曜日。たまに会社の行事や週中に休日がある場合には、サイクルが変わります。月曜日以外に会社にいると「どうしたの?」と言われるくらいです。

そんなこんなで、僕のお客様は「遠方」がほとんどです。東京大阪は比較の出張へ行かれる方も多いですが、問の「名古屋」は通過点で降りたことがないお客様もたくさん見えます。そんな背景の中、来社された事のお客様でも「波紋」のことを良く知ってもらえているのです。理由は、この「波紋」のご陰です。社風・社内行事・社員の名前・顔(写真のみ・誕生日・家族忘年会...)。ある方などは、「23日は営業会議だから来られなないなあ...」と、僕のスケジュールまで考慮していただいています。あるお客様からは、「毎月楽しみにしているよ」との声も掛かります。「こんな企画を入れたらどう?」「レアドバイスを頂けるとお客様も。うちの会社もやっつけられど3回目が終わったよ」との声も。そのお客様からは、「森松」は継続力のある会社、と評価していただけています。お陰で、営業活動が非常にやり易いのです。このように、営業ツールとしては最高の応援者ですが、原稿依頼があると...??。でも、頑張っ書いています。そのうち、「伊東君は来なくていいから」波紋だけ送って...「とならぬ様に、明日からも全国飛び回って「波紋」に負けぬ様に頑張っ営業します。

『知る? 知らない?』

森下友博 (Σ-208)



知る? 知らない? で大違い...。先日、こんな経験をしました。

先日、台湾旅行へ行きました。ツアーではないので、個人行動で故宮博物院へ行きました。行きはホテルからタクシーで現地へ行き、難なく到着。二連の展示物を見終り天気も荒れてきたため、足早にタクシーが集まっているところへ行き乗車。出発した訳ですが何か周りの景色が行きとは明らかに違う。またタクシーの運転の仕方もおかしい。ゆっくり走りたり、信号では青になろうが前進しない、料金メーターの上がりがりも妙に早い...。ガイドブックに悪質タクシーの事が書いてあった事を思い出し、かばんの中から出し確認したところ、書いてあるそのままの状態。料金メーターも夜間割増のポタンが押されていた。その場で料金を払わず下車しようと考えたが、外は大雨で降りる訳にいかないので、タクシーの中で騒ぐ...。無論言葉は話す事はできないので、日本語で怒鳴りちらし、価格の交渉を行い運転手も分かった様で、行きの金額と同額でホテルに無事に到着することができました。ただ、冊の無料ガイドブックでしたが、知っているのと知らないのでは大違い、金額的にはいたした事ではないと思うのですが、日本人観光客と見ると鴨にされる、そんな行為が許せない。泣き寝入りはしたくないですから...。事前調査は大事であると思う感じました。

同行させていただいた方々は台湾通の方々であり、常時行動を共にさせていただいたお陰で遊びも楽しめ食事も大変美味しい物も食することができました。また、現地の方々の交流もあり、このような出来事は払拭されました。帰国後、日本在住の台湾の方にこのエピソードを話したら「観光地で待っているタクシーは鴨を待っているから乗っては駄目だよ、流しているのに乗らなければ」の一言...。先に聞いておけば...。でもとても良い思い出になった旅でした。

夏季休暇読後感

『失敗力』をつければ うまくいく

成澤志緒子 著

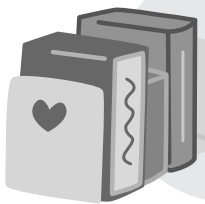


小坂美香 (レインボーⅢ)

この本を読んで思ったのは、失敗は恐れてはいけないのだという事です。人は失敗をする事で成長していくと思うので、時には失敗する事も必要だと思いますが、誰でも失敗をするのは怖いし、できれば避けたい事だと思ってしまう。

でも、この本に書いてあったのですが、「失敗の恐怖に向き合う強さ=心の強さ」であるように、失敗を経験する事で心が強くなるという事なので、失敗を恐れずに前へ進んで行く事も大切だと感じました。

また、失敗をするのは運が悪かったのではなく、逆に失敗をしない人こそが運が悪かったと思える様に、失敗からいろんな事を学んでいけたらいいなと思いました。



座右のゲーテ 『壁に突き当たったとき開く本』

齋藤 孝 著



長崎 修 (ニーズ)

この本は、実践する事は容易ではないが、大きな成功に近づき、到達する為の方法論の必要性、そのための技術とは何かを、ここではゲーテの金言をもとに、具体的かつ本質的に教えてくれている。

- 一 章：集中する (小さな対象だけを扱う自分を限定する)
- 二 章：吸収する (最高を知る獨創性などない)
- 三 章：出会う (愛するものからだけ学ぶ豊かなものの距離)
- 四 章：維持させる (先立つものは金儀式の効果)
- 五 章：燃焼する (現在というものに一切を賭ける計り知れない物が面白い)

一～四章は方法論としてゲーテの金言と著者の例示の整合成があるように感じましたが、五章の燃焼する言葉に対し焼却する・忘却するという表現や、割り切りを持った方が効率よく残りの人生の時間というものを大切に燃焼させる事ができるような気がする。しかし、本章の主張には、一貫性や連続性があることを望めたいし、過去に遡って自らの議論を検証し、間違いがあれば、訂正することも効率を超えて要求される誠実さではないのでしょうか。壁に突き当たったら、立ち止まり、振り返ることも必要。本章の話題は、文学から映画・マンガ(スラムダンク:バスケット)・歌謡曲までと範囲が広くとりあげられている。その中に、全てを自分が生み出す必要はない。徹底することによって生かされる。徹底することの生かされたとした時間を生むのではないのでしょうか。

『時の中の自分』

西垣浩司 (ニーズ)



仕事、勉強、人との約束...。やるべきことに追われて、「時間が無い」が口癖になっていませんか? どんなに忙しくても、世の中には人の何倍も情報収集(趣味、特技など)をして、人生を楽しんでいる人がたくさんいると思います。スピードをアップして、忙しさをエンジンにできるようなれば、時間の支配者に...。

一日24時間を最大限使いこなし、仕事も生活も充実させる時間の支配者になるためには何が重要でしょうか。以前テレビのある番組で取り上げられていたように、仕事において「雑用にこそ締め切りをつくる」「目標の高さで時間の密度は変わる」「朝の情報収集で差がつく」「力を入れるのではなく、力を抜くことでスピードが出る」「眠くなったら寝よう、その代わり、早く起きよう」「計画することに1割の時間を割こう」などがありました。私も自分の仕事に生かそうとしていたのですが、自分には今一歩、何か足りないような気がしています。それは、今の自分に欠けている事についてうまく計画を立てられないから、やるべきことをリストアップする時間と自己の心との問題が原因かもしれませぬ。余裕を生み出す事の重要性を新たに自己認識させ、仕事に取り組みしていきたいと思えます。